

第7回
観峰館オンライン講座
観峰館所蔵品を鑑賞しよう (3)

かなと短冊

2021年6月27日 (日) 14時00分～

講師；寺前公基 (観峰館学芸員)

◇講座の目的◇

- ・ 所蔵品の中でも数少ない、かな作品の鑑賞
- ・ 作品の意味、制作の背景を理解する
- ・ 新しい作品作りの模索

野村望東尼とは？

野村望東尼（のむら ぼうとうに、もとに、1806～67）は、幕末の歌人で、福岡藩士・野村貞貫（のむら さだつら）の妻です。安政6年（1854）、54歳の時に夫が他界すると、剃髪して出家しました。その後、大阪と京都で尊王攘夷の高まりを目の当たりにすると、自身の山荘である平尾山荘（ひらお さんそう）に、高杉晋作ら幕末の勤皇志士を匿いました。



慶応2年（1866）、姫島（現；糸島市）に流刑となったものの、高杉晋作（たかすぎ しんさく）の手助けにより脱出。その縁で、高杉晋作の最後を見取り、辞世の句の後半を詠みました。翌年、62歳で死去。

東久世通禧とは？

東久世通禧（ひがしくぜ みちとみ、1834～1912）は、幕末から明治時代にかけて活躍した公家、政治家です。幕末の朝廷で尊王攘夷運動を積極的に関わりましたが、文久3年（1863）京都より長州（山口県）へと追放された。いわゆる「七卿落（しちきょうお）ち」の一人で、「七卿」には、三条実美（さんじょう さねとみ）らがいました。

明治に入ってから政治に復帰し、初代神奈川県知事、2代目北海道開拓長官、初代貴族院副議長などの要職を務めました。



兄は竹亨（たけたけ）、次兄は長久保（ながひさ）などがあります。

野村望東尼 筆

和歌短冊「くらゐ山」

幕末期（1859～66頃）

くらゐ山
のほろい
なほ山
くらゐ山

東久世通禧 筆

和歌二行軸「このきみの」

明治初期（1869～1871頃）

このきみの
なほ山
くらゐ山
のほろい
なほ山
くらゐ山

それでは、
実際の作品を見て
みましょう！

野村望東尼 筆

和歌短冊「くらゐ山」

幕末期（1859～66頃）

くらゐ山こがねの花のしをりして
のぼらばみねも満ちかゝらまし望東

くらゐ山こがねの花のしをりして
(ま)

のぼらばみねも満ちかゝらまし望東

野村望東尼 筆

和歌短冊「くらゐ山」

幕末期（1859～66頃）

くらゐ山こがねの花のしをりして
のぼらばミねも満ちかゝらまし望東

くらゐ山こがねの花のしをりして

（ま）

のぼらばミねも満ちかゝらまし望東



位山に登るとき、もし黄金色の花を枝
折りにして登れば、頂上も待ってくれ
ていることだろう。

○ ば + まし

↓
もしくしたら、くだろう

○ まちかから

↓
待つ (連用形)
+ かかる (補助動詞)

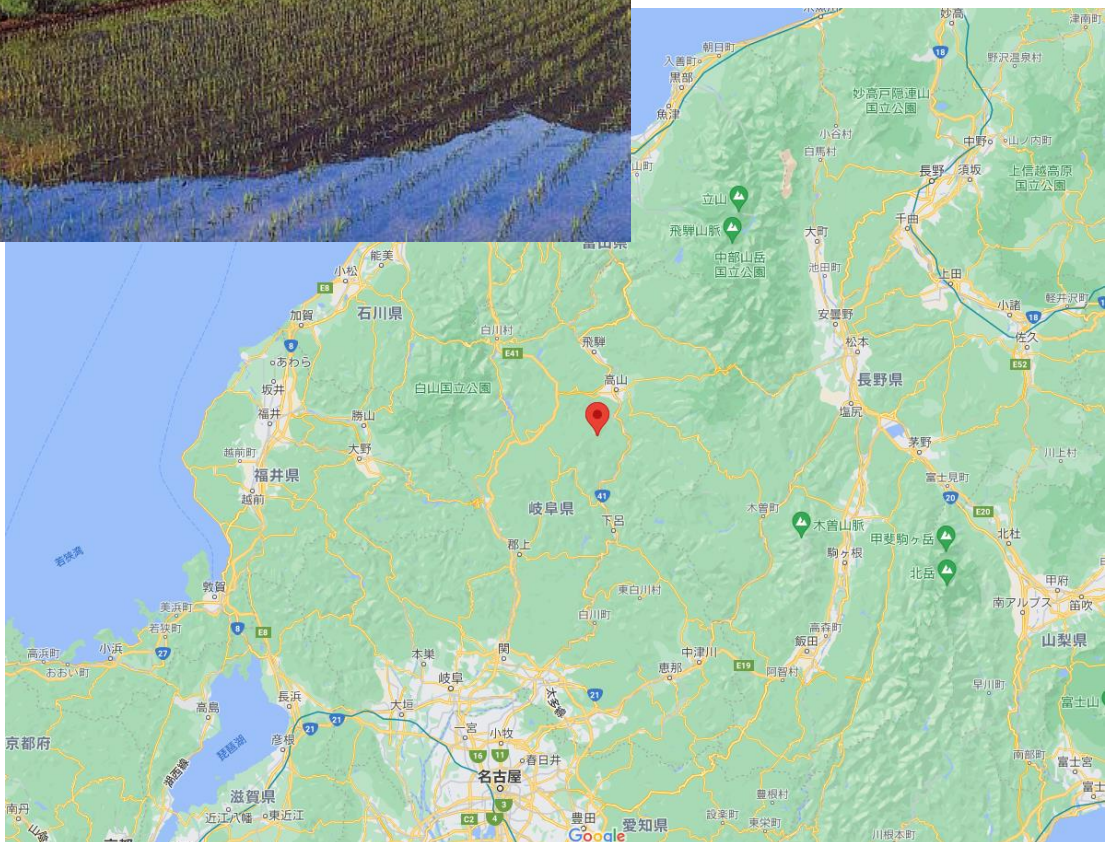
↓
待っていているだろう



峰が待つ ↓ 峰に到着する

位山（くらいやま）とは？

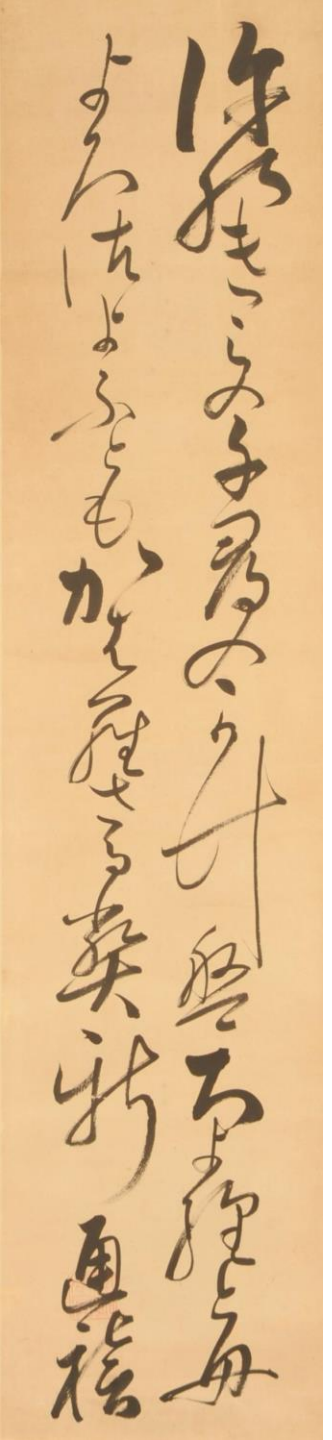
岐阜県高山市に位置する霊峰。イチイの原生林で有名で、天皇即位の際には、イチイの笏が献上されています（令和新天皇の際にも献上されました）。



東久世通禧 筆

和歌二行軸「このきみの」

明治初期（1869～1871頃）



(こ)

(けは)

許のきみの

千尋のか計磐

(ち)

(ふ)

(も)

知よ経と母

(つ)

(ら)

(へし)

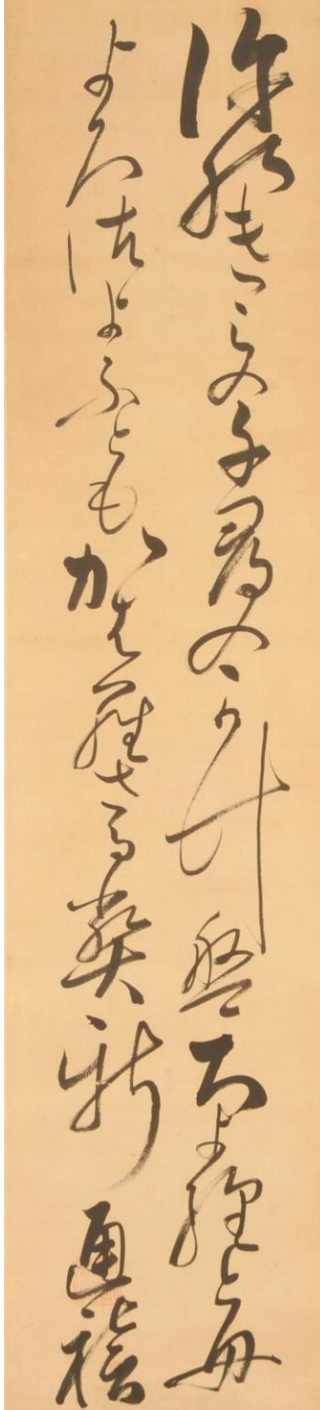
よろ津よふとも

かは羅さる弊斯

東久世通禧 筆

和歌二行軸「このきみの」

明治初期（1869～1871頃）



（ちよ）

この君の長い影は、千代を経ても、
（よろずよ）

万代 を経ても、変わらないに
違いない。

← 「この君」とは、誰のことか？

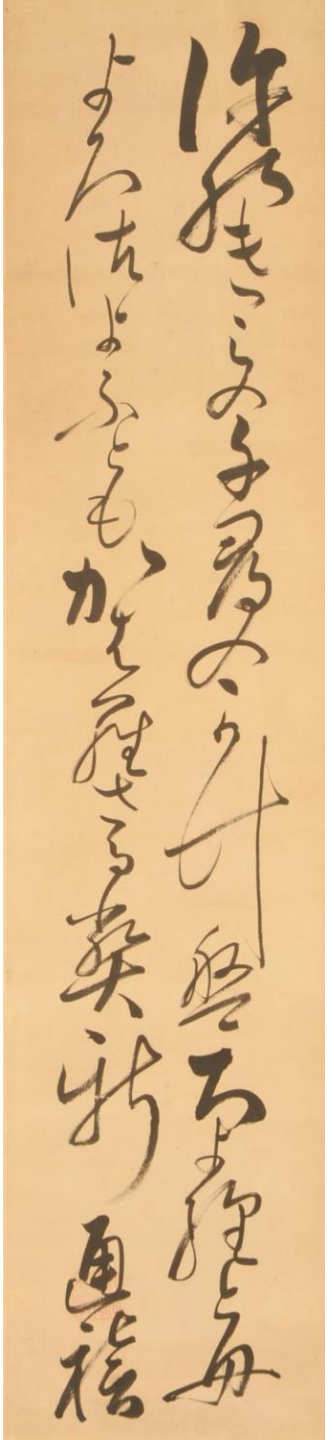
← 明治初期Ⅱ天皇の代替わりの直後

← 「この君」Ⅱ明治天皇

東久世通禧 筆

和歌二行軸「このきみの」

明治初期（1869～1871頃）



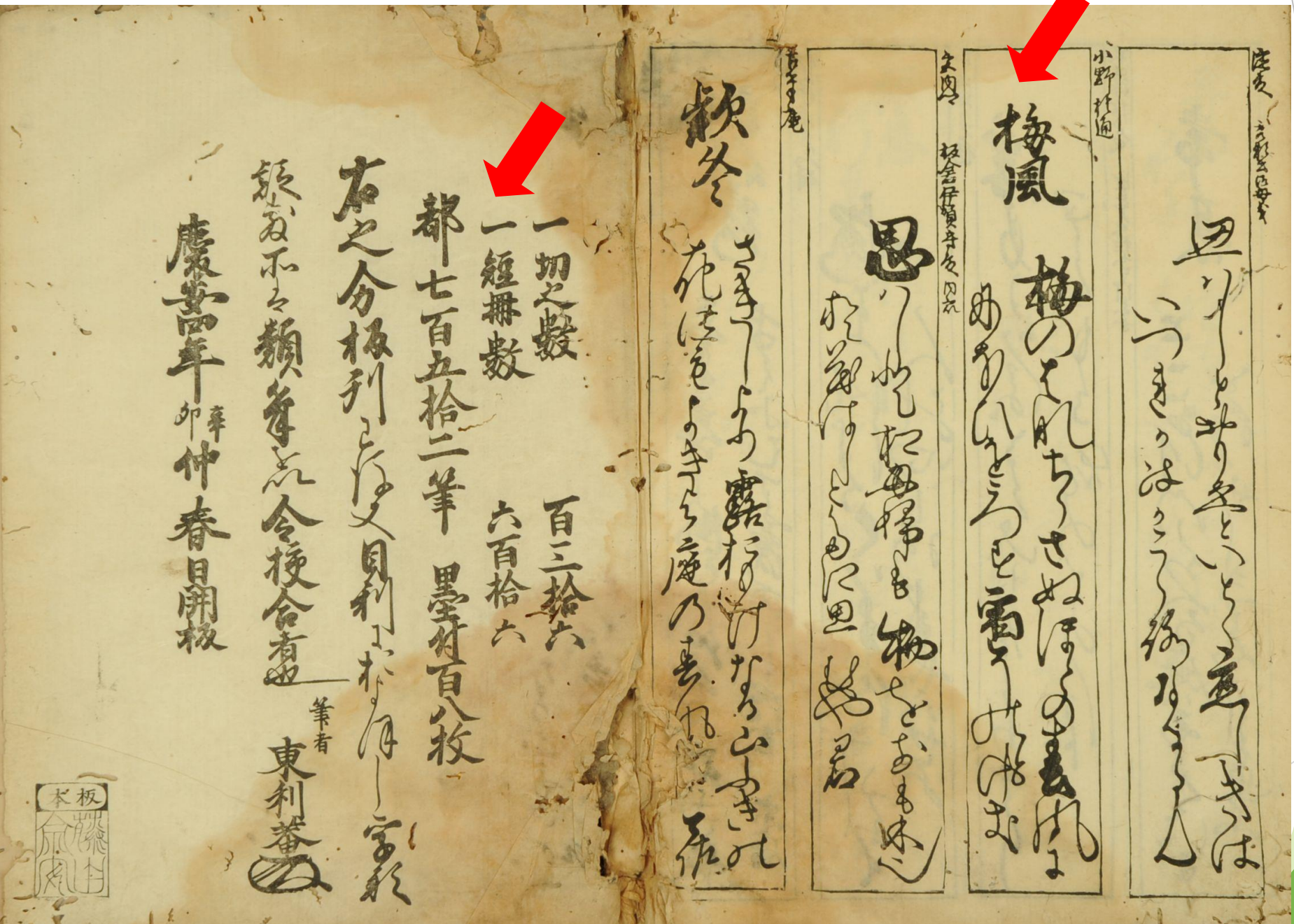
違和感

落款「通禧」をなぜ、こんなに大きく
書くのか？



短冊の書き方を条幅作品に応用した
のでは？

慶安四年 (1651) 刊
慶安手鑑 (けいあんてかがみ)



今日の講座のおさらい

ありがとうございました。

来月の講座予定

- 7/13 (火) 観峰館の臨書作品 (2)
—「崔敬邕墓誌 (さいけいゆうぼし) 銘」を中心に—
- 7/27 (日) 観峰館所蔵品を鑑賞しよう
(4)
—辻本史邑 (つじもと しゅう) の臨書帖—

観峰館